

## 業務無線用終端通過複合形電力計

TLD-55A シリーズ



TLD-55A-11 ~ 42

検波方式 W

ケース付

通過形電力計と擬似負荷が一体になった複合形電力計です。付属のUリンクを接続することにより、終端形電力計としても使用できます。デジタル変調方式の無線機 (TDMA, FDMA/SCPC) の送信電力、および反射電力を測定できます。

## ● 特長

- ① 通信方式により、演算係数を選択できるように、2レンジの係数回路を設けてあります。
- ② 電力検出に熱電変換方式を採用していますので、デジタル変調方式の電力測定に適しています。
- ③ NORMAL (連続波) レンジでは、従来のアナログ変調方式の無線機の送信電力測定にも使用できます。
- ④ 定格電力の10倍の電力に3秒間耐えられる構造になっています。

## ● 性能

周波数範囲	50 ~ 160MHz	TLD-55A-01	—	TLD-55A-21	—	—
	140 ~ 470MHz	TLD-55A-02	TLD-55A-12	TLD-55A-22	TLD-55A-42	TLD-55A-32
測定電力		1.5, 3 (W)	3, 7 (W)	7, 15 (W)	15, 30 (W)	30, 70 (W)
電力表示範囲		各レンジ 0 ~ フルスケール				
電力レンジ切り替え		前進電力、反射電力ともに2レンジ HIGH, LOW				
検波方式		サーモフィルムセンサ (熱電対)				
インピーダンス		50 Ω				
表示		アナログメータ				
電圧定在波比 (VSWR)		通過電力部	1.3 以下 (1.1 以下の負荷を接続して)			
		擬似負荷部	1.2 以下			
		Uリンク接続時	1.3 以下			
電力指示精度		フルスケールの±10% 以内 (付属ケーブルを含まず)				
入出力コネクタ		入力	NJ			
		出力	NJ			
		擬似負荷部入力	NJ			
耐電力		定格電力 (最大電力の約80%) の10倍に3秒間耐えます。				
連続使用条件		定格電力 (設定レンジ最大電力の約80%) で1時間連続動作し、各性能を満足します。				
温度上昇		最大電力にて外筐表面 60deg以下				
MODE切り替え		NORMAL (連続波), CAL1, CAL2 (CAL1, CAL2 は係数を演算した指示になります。)				
演算係数		CAL1	約 1.03 ~ 1.48 倍 (係数はお客様にて設定していただきます。)			
		CAL2	約 1.36 ~ 6.20 倍 (係数はお客様にて設定していただきます。)			
冷却方式		自然空冷				
外部インターフェイス		—				
内部電源		1次リチウム電池 (3.6V) 連続使用にて3年以上				
外部電源		—				
使用温度・湿度範囲		0 ~ 40°C, 45 ~ 85% RH				
保存温度・湿度範囲		-10 ~ 60°C, 5 ~ 95% RH				
寸法・重量		TLD-55A-01, -02	120(W) × 170(H) × 98(D)mm, 約 1.6kg *1			
		TLD-55A-01, -02 以外	120(W) × 170(H) × 159(D)mm, 約 2.6kg *1			
付属品		同軸ケーブル	両端 NP 接栓付 3D-2W 1m 1本			
		Uリンク	両端 NP 接栓付 1本			
		キャリングケース	1個			
		試験成績書	1部			
備考		*1 突起物は含みません。				
周辺機器・保守用部品 (別売り)		同軸ケーブル	FAC-CABLE(CX)-008 (NP-3D2W-1m)			
		Uリンク	FAC-ULINK-002(TLD)			
		キャリングケース	TLD-55A-01,02	FAC-CARRY-008(TLD)		
			TLD-55A-01,02 以外	FAC-CARRY-007(DTLD)		
	リチウム電池ユニット	FAC-BATT-001				